

春 告 草

第 71 号 平成 29 年 8 月 30 日 進路指導部発行

勉学の秋に向けて 模試を受ける意味とその活用法

世界陸上や高校野球に見入っていたわけではないが、今年の夏休みはあっという間に過ぎてしまったという感じが強い。夏休みに入ってすぐの勉強合宿、その後の部活の合宿が終わって、休みもあと 3 週間か…と思ったが、進路資料の整理や自宅の荷物の処分で、すぐに 3 週間が経ってしまった。息子からは、終活？と冷やかされたが、あながち的外れではない。皆さんはと言えば夏休みにも関わらず、登校して勉強に取り組む姿が目立った。6 年生にとっては、とって貴重な夏休みだったと思うが、有意義に使うことができただろうか。2 学期が始まり「勉学の秋」を迎えるが、夏休み中の勉強の成果が出て「実りの秋」が迎えられることを心より祈っています。4 年生、5 年生にとっても 2 学期は進路選択の意味では重要な時期である。鷹校祭の中核として活躍しなければいけないが、その一方でやるべきことをきちんとこなして、自分の思い描く進路目標へと一歩近づいていけるような努力を継続しなければいけない。

前置きが長くなったが、6 年生は今月から 12 月のセンタープレテストまで、毎月模試を受験することになる。模試をどのような位置づけで捉えているのかによって、得られる効果は大きく異なってくる。模試を受ける意味とその活用法について述べるので、参考にしておいてもらいたい。もちろん 4 年生、5 年生にとっても大切な内容である。7 月模試の結果票も近いうちに返却されるだろうから、記事を参考にして今後役に立ててもらいたい。

まず大事なことは、自分の能力特性を分析し、自己修正をするトレーニングとして模試を捉えるということだ。自分はこの分野に向いている、向いていないということは漠然と感覚的には分かる。ただし、それを自分自身で客観評価するのは意外と難しいものだ。その点、模試を受けることで、様々な指摘を得られるのだから、これを受験計画に使わない手はない。模試は能力特性を分析し、修正点を見出す材料を与えてくれる。材料をどのように自己改革につなげていくか、そこに受験生としての力量が求められるといっていよう。届いた結果を見て判定に一喜一憂し、偏差値を確認して終わりにしてはいけない。「模試＝力試し」の認識は改めよう。結果票には、どの教科・科目のどの分野を伸ばせば、目標に到達できるのかの手がかりがあるのだから。

ただし、結果票に記載された指摘すべてを受験計画に反映させればいいのかといえば、決してそうではない。結果票には現状で足りている部分、足りていない部分について採点側のわかる範囲で書かれている。しかし、やるべきことの優先順位は受験生本人が考えるべきことだ。模試を活用するということは書かれたことを闇雲に消化することではない。例えば模試で点数の悪い科目というのは、理解できていないことからくるスピード不足による部分が大きい。ただでさえスピード不足のところと言われた通りのことをやっても、たいていは本番までの時間がなくなってあわてることになる。もちろん努力課題を修得すれば成績向上へつなげることは可能だろう。ただし、それがいつになるかは分からない。だからこそ、志望校とのギャップを把握し、自分の能力特性に応じた得点の積み上げ方を考えることが重要なのだ。

模試を受けたらその日のうちに答え合わせをし、できなかったところを確実に身に着けることも大切だ。模試を受けた直後の復習は苦手部分の補修には大変効果的である。

6 年生は以上のことに加え、模試を本番の予行演習として捉え、時間配分感覚をつかんだり、効率的に解き進める順番を探るといったシミュレーションをすることだ。校内受験する模試の他、大学別模試はその大学の出題傾向や出題形式を取り入れているので、シミュレーションには最適だろう。

センター試験願書受付がいよいよ始まる！

6年生への受験案内配付と
説明会は6日を予定！

センター試験実施日程

検定料等払込み	平成29年9月1日(金)～10月6日(金)
志願票校内締切り	平成29年9月19日(火) (下書きの提出は9月12日)
出願期間	平成29年9月26日(火)～10月6日(金) (10月6日消印有効)
確認はがき(出願受理通知)の受領	平成29年10月24日(火)までに到着
受験票等の受領	平成29年12月13日(水)までに到着
試験期日	平成30年1月13日(土)・14日(日)

センター試験時間割

期 日	出題教科・科目		試験時間
平成30年 1月13日(土)	地理歴史 公 民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理・政治・経済」	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外国語	「英語」他	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 17:10～18:10
1月14日(日)	理 科 ①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数 学 ①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	11:20～12:20
	数 学 ②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」	13:40～14:40
	理 科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2科目受験 15:30～17:40 1科目受験 16:40～17:40

センター試験受験科目の登録

教 科	記 入 方 法
国 語	・受験する →「A」と記入
数 学	・受験しない→「×」と記入
外 国 語	※ 数学を「受験する」(「A」)として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されますが、「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
地理歴史 公 民	・1科目受験する →「A」と記入 ・2科目受験する →「B」と記入 ・受験しない →「×」と記入
理 科	・理科①を受験する →「A」と記入 ・理科②を1科目受験する →「B」と記入 ・理科①を受験、理科②を1科目受験する →「C」と記入 ・理科②を2科目受験する →「D」と記入 ・受験しない →「×」と記入

平成 30 年度 大学入学者選抜

**大学入試センター試験
受験案内 30**

出題期間 平成 29 年 9 月 26 日(火)
～ 10 月 5 日(金)(消印有効)

試験日程 平成 30 年 1 月 13 日(土)・14 日(日)

★ 難関大学および一部の大学に入学を希望する場合は、「試験の準備」までを必ず。
試験料 4000 円(税込) 平成 29 年 8 月 1 日(金)～8 月 25 日(月)

(注)「受験機関」は、大学入学希望者総研と大学入試センター試験センター。

平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

①受験教科 (2科目) ②受験科目 (2科目) ③記入方法を参照してください。
受験する、しないにかかわらず、必ず該当する選択欄を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択	記入	人	
国 語	A	●	受験する	200
	X	●	受験しない	

大学入試センター試験 志願票 第Ⅰ面

～10月6日(金) (10月6日消印有効)

④学校名 ⑤所属高等のちからへの 受験上の配慮 ⑥受験希望	⑦学校記入欄 希望する ☐ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td><td style="width: 10%;">2</td><td style="width: 10%;">3</td><td style="width: 10%;">4</td><td style="width: 10%;">5</td><td style="width: 10%;">6</td><td style="width: 10%;">7</td><td style="width: 10%;">8</td><td style="width: 10%;">9</td><td style="width: 10%;">10</td><td style="width: 10%;">11</td><td style="width: 10%;">12</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12														

⑧課程

2 定時制 3 通信制

⑨学 科

1 理数学科 2 農学科 3 工業科 4 商業科 5 総合学科 7 総合学科

⑩学修通知

成績通知

希望する 希望しない

3 教科以上 18,800円 18,000円

「受験案内」は国公立私大で配布されているが、6年生には配付した上で諸注意を与える予定。

主要大学説明会に行ってきた！

8月23日、東京ビッグサイトにて「主要大学説明会」が行われた。主催は東京大学で、28の国公立大と私立大9校が参加していた。各大学で行われたオープンキャンパスに出かけた人も多いと思うが、これは主要国公立大が一堂に会して行われる大学説明会。施設見学や模擬授業は無いが、多くの大学のパンフレットや募集要項をまとめて入手できる機会なので人気は高く、来場者も多い。当日は開場前に到着したが既に入場者で長蛇の列で、団体で来場した高校もあった。今年で13回目の開催で、年々開催規模が拡大され、数年前からキャパシティの大きいビッグサイトに会場を移した。当日の様子をレポートする。



東大生、京大生の受験体験談には多くの高校生、保護者が参加した。本校生徒も会場で見かけたが、もっと多くの生徒に参加して欲しいと思いました。

まず、この説明会の主催者である東京大学より基調講演が行われた。講演者は東京大学理事・副学長の福田裕穂氏。生物、特に植物生物学では世界的権威で、依頼されてヨーロッパの大学を一週間ほどかけて講演することもあるのだそうだ。研究業績が評価されて、国内では紫綬褒章も受賞されている。今回の講演では、まず世界の中で日本がおかれている学術の状況をグローバル化の視点でお話をいただいた。世界学術会議などの場面にもっともっと日本の研究者は積極的に参加していかなければならないことや、力のある若き研究者に育ってきてもらいたいと来場した高校生に声をかけていた。また、ご自身の専門である植物生物学での研究事例を上げながら、研究者としての生き方についてお話をされた。これから大学を目指し、何か専門を極めていこうと志向する人にとっては大いに刺激を受けた講演であったと感じた。

説明会は3会場に分かれて、13の大学説明会がプログラム通りに行われた。1大学当たり35分の限られた時間で、説明ポイントも大学により様々だったが、概要は知ることができた

東京大学

理事 福田裕穂副学長

■1877年の創設から140年経った。戦前の70年、戦後の70年となるが、これからの70年を迎えるにあたって、大学を21世紀の地球社会に貢献する「知の協創の世界拠点」と位置付け、「知のプロフェッショナル」育成を目指して、様々な取り組みを行っている。（「東京大学ビジョン2020」（2015年10月22日公表））

■教育カリキュラムの特徴の一つが、**Late Specialization**。類別に学生を募集し、3年次より所属学部を振り分ける「進学選択制度」を取り入れているが、教養を徹底的に鍛えて専門課程に進むという方針に基づくものだ。研究者としての教養は英語以上に身につけておくべきこと。文三から医学部へ進学した学生もいて、前期課程2年間で様々な分野の最先端研究に接し自身の適性も見極めた上で、後期課程の高度な専門教育に進んでいる。

■入学後は次に掲げる様々なプログラム、システムにより、学生の自主学習、体験活動をサポートしている。

- ・FLYプログラム（初年次長期自主活動プログラム **Fresher's Leave Year Program**）
- ・初年次ゼミナール
- ・グローバルリーダー育成プログラム（GLP）
- ・トライリンガルプログラム（TLP）

■入試変更点

平成30年度入試より、理科三類で個別試験に面接試験（10分/1人）を導入予定。

■女子学生の構成比が20%を超えたが、将来的には30%を目指している。女子の入学を期待している。

東京外国語大学

学長特別補佐（高大連携担当） 藤縄康弘准教授

■大学全体として多言語グローバル人材の育成を目指している。この為、多言語カリキュラムは勿論だが、教養、リベラルアーツ教育にも力をかけている。

■言語に関しては「CEFR-J×27project」で言語習得度を国際評価している。（CEFR とは **Common European Framework of Reference for Languages**（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略。ヨーロッパ（詳しくは欧州評議会

の会員国)で使われている外国語の学習、教授、評価のための言語参照枠のこと。A1～C2の全6レベルに分かれている。CEFR-Jはこれを日本の英語教育に適用した言語参照枠のこと。対象とする言語は27ある。)

■各国大使の講演会が学内で開催されることも多く、交流会で語学の実戦力を高めることができる。

■言語文化学部は言語枠、国際社会学部は地域枠でのくくりだが、学部に関係なく英語教育がメインである。

■学部改編について

2019年度より国際日本学部を新設し、言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部の3学部構成となる。これにともない、学生募集数に変更がある。3学部で推薦入試を予定しているが、国際社会学部の後期日程試験は継続する方向で検討中。

筑波大学

アドミッションセンター長 島田康行人文社会系教授

大学創立は1973年だが、前身の東京教育大学、東京文理科大学、東京高等師範学校…まで遡れば150年余りの間、多くの教員を輩出してきた。現在も医学類以外では教職課程を設置していて教員を目指す学生もいるが、大学全体としては研究大学としての評価を受けている。

最寄駅はつくばエクスプレス「つくば駅」だが、「郊外型大学」のため、多くの学生はアパート住まい。新入生の6割は大学内にある4つの学生寮に入居する。(2年次以降は抽選)

■学群・学類 教育組織が学部・学科ではないところが最大の特徴。専門領域を中心としていくつかの学問分野を総合した組織なので、幅広い領域に柔軟に対応できる。平成31年度に教育カリキュラムを手直しして、これまで以上に学類間の学びが可能となる。

■少人数教育 約1万人の学生に対して教員は1900人。少人数で真剣に勉強できる環境が整備されている。

■外部英語検定試験の導入 平成30年度の推薦入試から導入する。医学類は平成29年度の推薦入試で導入済。大学HPで随時周知していく。(※出願資格ではなく、基準以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させる)個別入試への導入は見送った

■TSUKUBA FUTURE 大学での最先端研究活動を高校生向けに発信している。

京都大学

高大連携担当 江島伸興特定教授

■京都大学のシンボルは時計台だが、その時計台の前に立つクスノキが校章にデザインされている。

■自由の学風が昔からの伝統。自重自敬、自立独立、自得自発を踏まえた活動を学生には期待している。

■WINDOW構想

W WILD AND WISE 未知の世界に挑戦できる実践の場として、野性的で賢い学生を育成する。

I INTERNATIONAL AND INNOVATIVE 研究の国際化を一層推進し、イノベーションの創出を図る。

N NATURAL AND NOBLE 自然に親しみ、学び、高い品格と高潔な態度を身に付けられる学びの場を作る。

D DIVERSE AND DYNAMIC 多様な言語や考え方を受け入れ、悠久の歴史の中に自分を正しく位置づける落ち着いた学問の場を提供する。

O ORIGINAL AND OPTIMISTIC 失敗や批判を恐れず、それを糧にして異なる考えを取り入れて目標達成に導くような能力を涵養する。

W WOMEN AND WISH 男女共同参画推進アクション・プランに基づき明るい希望を持てる環境を整備します

■入試の変更点など

薬学部 学科別の募集を止め、一括募集とする。

特色入試 薬学部薬学科(3)、工学部建築学科(2)、工学部物理工学科(5)で新規実施。全体で10名の募集増。これで、全学部、全学科で特色入試を実施。出願要件についても変更があるが、条件緩和の方向。

■ネット出願

平成30年度より新規導入

■京都市の人口は約150万人であるが、市内に通う大学生は約15万人である。大学の街京都で学生時代を過ごしてもらいたい。

※東工大の説明会にも参加したが、紙面の都合で省略します。春告草69号に記事を載せてありますので、そちらを参考にしてください。